

【 株式会社ヤマダ電機 月次IR情報 】



■ 2015年3月期（自2014年4月1日 至2015年3月31日） 売上高前年比推移（POSベース）

【全店POSベース売上速報】

（単位：％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計 (単純平均)
(携帯除く)グループ：全店	84.8%	90.4%	86.3%	90.7%	91.5%	83.5%	90.0%	93.1%	88.5%				88.7%
(携帯除く)グループ：既存	85.2%		87.0%			89.8%							87.3%

注1：2013年4月度より集計方法をベスト電器を含む速報値に変更しております。

注2：数値は、店舗POS速報データに基づいており各月及び累計の数値は決算の数値とは異なります。

また、卸売上、ソリューションビジネス関連売上、各種取次手数料売上等のPOSベースではない売上は含まれません。

注3：スクラップ&ビルド該当店舗について、スクラップ店舗は閉鎖店とし集計に含めておりません。

注4：2014年4月度より、(株)ベスト電器の前年実績も考慮したグループ集計に変更しております。

■ 月次概況説明

2014年12月度は、日曜が1日少なく、天皇誕生日が飛び石（前年三連休）となっています。
引き続き消費増税の反動は続いており、12月を通して家電市場は前年比で回復することはありませんでした。
前年12月度は、消費増税前の駆け込み需要によるプラス影響が見え始めた月でした。
さらに、上旬は日本海側を中心とした大規模な降雪による来店客数への影響が見られました。
テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコンはこれまでと同様に各種政策の反動減の影響があら伸び悩みました。
寒波の到来により、気温が急速に低下したことから電気暖房・石油暖房が好調に推移しました。
クリーナー、調理家電、理美容商品が好調に推移しました。パソコン等のデジタル家電が伸び悩みました。

■ 当期の売場面積推移

（連結ベース：速報集計）

（単位：㎡・％）

期初		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	経過月計	累計	期初比
2,671,265	開店	8,723	7,284	13,344	4,919	11,052	14,052	12,690	16,450	6,666				95,180	2,729,253	102.2%
	増床	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0		
	閉店	-4,635	-6,310	-87	0	-3,800	-8,273	-5,712	-6,957	-1,418				-37,191		
	計	4,089	974	13,257	4,919	7,252	5,779	6,978	9,493	5,248	0	0	0	57,988		

本月次IR情報の内容は、発表日時点で入手可能な情報に基づき当社月次概況の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資等の最終決定は、ご自身の判断と責任において行われますようお願いいたします。本月次IR情報中の数値及び画像等の各データ、説明、イメージ、見解や予定は、多分に不確定な要素を含んでおり、予告なしに変更されることがありますので、予めご了承くださいませようをお願いいたします。株式会社ヤマダ電機及びそのグループ各社の役員または従業員は、本資料の使用、その内容から生じる直接的、間接的または派生的な損害または損失に対して一切責任を負うものではありません。また、データのダウンロードによって生じた障害や第三者によるデータ改ざん等に関し、いかなる理由があっても一切責任を負うものではありません。あらかじめご了承ください。